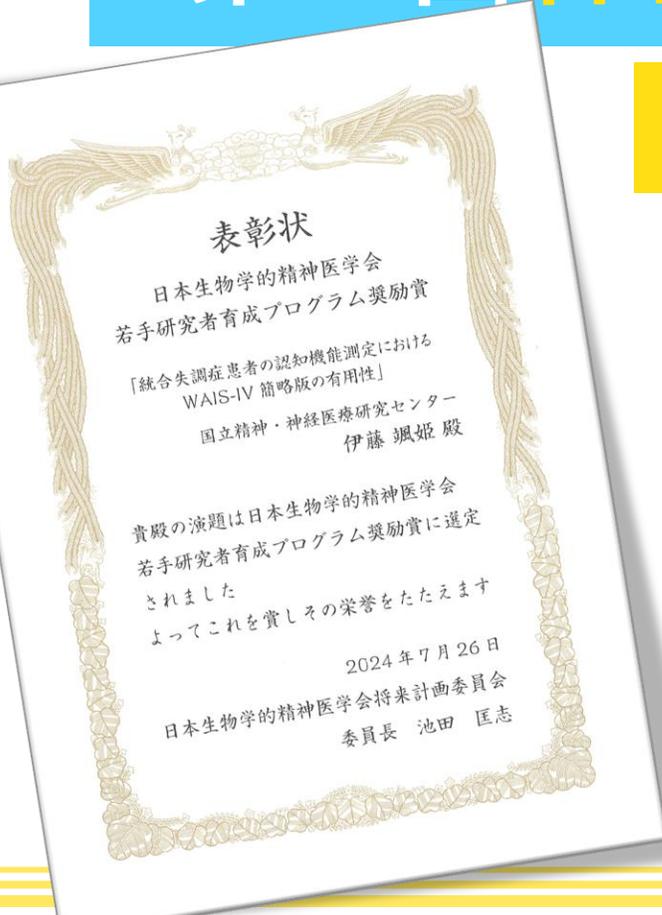




伊藤颯姫研究員がNEURO2024 (第47回日本神経科学大会、第67回日本神経化学学会大会、第46回日本生物学的精神医学会年会、合同大会) にて 日本生物学的精神医学会 第13回若手研究者育成プログラム奨励賞を受賞!



受賞演題

「統合失調症患者の認知機能測定におけるWAIS-IV簡略版の有用性」

研究概要：統合失調症の治療において認知機能の評価は重要である。しかし長時間に及ぶ検査は負担が大きく、実臨床の場で頻繁に実施することは難しい。そこで住吉ら(2016)はWAIS-III簡略版を開発し類似と記号探しの2課題のみを用いた推定IQの測定を実現した。本研究ではWAISの最新版であるWAIS-IVを用いて統合失調症患者の認知機能の評価するため、WAIS-IV簡略版を開発することを目的とした。110名の統合失調症患者のデータを用いて解析を行った。結果、類似と記号探しの2つの下位項目は、患者の因子構造の代表性、全検査IQの説明力、社会機能との相関において、十分な値を示し、WAIS-IV簡略版として有用であることが示唆された。

